

# グループ研究会の活動



一般社団法人  
広島県中小企業診断協会

# 目 次

1. 会長挨拶 『グループ研究会活動の活性化に向けて』	・・・ 1
2. グループ研究会入会および新規設立方法のご案内	・・・ 2
3. 各研究会紹介	
① ISO研究会	・・・ 3
② 建設業研究会	・・・ 4
③ 販路開拓研究会	・・・ 5
④ IoT研究会	・・・ 6
⑤ 企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）	・・・ 7
⑥ 海外展開支援研究会	・・・ 8
⑦ ニューロビジネス研究会	・・・ 9
⑧ 資金繰り表研究会	・・・ 10
⑨ 原価管理研究会	・・・ 11
⑩ 事業承継研究会	・・・ 12
⑪ 企業再生実践研究会	・・・ 13



## 『グループ研究会活動の活性化に向けて』



一般社団法人広島県中小企業診断協会会長の江川 雅典です。

当協会のグループ研究委員会の皆さんが活発な活動を繰り広げる中で、今回のような研究会活動紹介の小冊子を発行するに至っております。本小冊子が研究会活動の更なる活性化と、中小企業診断士の付加価値の向上に、大いに寄与することを期待しております。

当協会は、経営コンサルタントの唯一の国家資格である中小企業診断士の会員による専門家集団です。中小企業診断士の業務は、中小企業支援法で「経営の診断及び経営に関する助言」とされ、「現状分析を踏まえた企業への有用なアドバイス」を信条に、その知識と能力を活かして幅広く活躍しております。

昨年は、中小・小規模事業者にとって実感のわからない景気拡大が続く中、7月には西日本豪雨災害が発生し、広島経済に深刻な打撃を与えました。また、食品や物流費など様々なものが値上がりしており、休業業・解散を選択する企業も3年ぶりに前年を上回るなど、中小・小規模事業者を取り巻く環境は厳しさを増しております。このような環境変化が激しい中で、経営の舵取りを支援する中小企業診断士に対する、関係諸機関や事業者の期待は、近年特に高まってきております。

グループ研究会は、その研究会の推進を通して、会員の企業診断、中小企業支援事業等に係る技術・能力の向上を図り、中小企業経営への高度な革新支援ならびに地域産業・経済の活性化に寄与することを目的としており、本部・県協会として積極的に活動を支援しています。インセンティブとして次のものがありますので積極的なご活用をお願いします。

- ・ 県協会「診断ひろしま」や協会本部「企業診断」への研究成果の掲載の応募
- ・ 協会本部の「調査研究事業」への応募・採択による、活動の助成や優秀事例の協会シンポジウム（東京）での発表
- ・ 調査研究補助事業費の支給（令和元年度は各研究会に計33万円支給予定）
- ・ 中小企業診断協会の中国ブロック会議などを通じた、他県協会の研究会との交流
- ・ 研究の成果を活用した企業、行政その他の団体からの研究事業その他事業の受注

「研究会活動に参加したいがやりたい研究会がない」という場合には、3名以上の会員で「研究会設立届」を作成し提出をしていただければ、設立が可能です。また、テーマ型の短期間の研究会設立も可能です。仲間を呼んで新たな研究会の立上げをどしどしやっていただきたい。

研究会活動の活性度は、県協会の活性度を図る尺度とも言えます。

多くの会員が研究会活動に参加され、自己研鑽やネットワークの拡大に取り組んで頂きますよう期待しております。

## グループ研究会入会および新規設立方法のご案内

### ○グループ研究会入会方法

- グループ研究会に入会を希望される方は、次頁以降記載の各研究会連絡先まで直接お申し込みください。但し、入会は、原則として、(一社)広島県中小企業診断協会の会員(正会員・準会員・名誉会員・特別会員)に限らせていただきます。

### ○グループ研究会設立方法

- 新たに会員3名以上からなるグループ研究会の設立をお考えの方は、次の「研究会設立届」を作成し、(一社)広島県中小企業診断協会 グループ研究委員会(jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp)までご提出ください。「研究会設立届」様式は、協会HPよりダウンロードできます。
- 1テーマ完結型など、期間を限定した研究会設立も可能です。お気軽にご相談ください。

### 研究会設立届

一般社団法人広島県中小企業診断協会

提出日	平成	年	月	日
承認日	平成	年	月	日
研究会の名称				
役員	代表			
	会計			
	書記			
連絡先	【名前】 【TEL】 【メールアドレス】			
設立時の会員				
主な研究内容				
活動予定日				
備考				

# ISO研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ISOの認証取得を目指す企業、または認証取得したが経営業績に有効に機能していない企業のコンサルタントに生かせるスキルを身につける。</li> <li>② ISO規格要求事項の理解度のアップ</li> </ul>
代表	栗山 琢次
連絡先	担当者：栗山 琢次 電話番号：082-894-1202； 090-6841-7446 Email：kuriyama-ta@gol.com.
会員数	5名（H31年1月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究会の活動趣旨に賛同し、積極的かつ継続的に参加できる方</li> <li>・ ISOシステムを活用した経営支援に興味がある方      ・ 年会費：無料</li> </ul>
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会合（日時〔曜日〕・場所）      通常は土曜日 10:00～12:00 活動の頻度：2か月に一度、      場所： 広島県中小企業診断協会 会議室</li> <li>① ISO規格のO2015年版について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2015年9月15日に、より実態に沿ったマネジメントを運用するため9001をはじめとしたISOの規格改定が行われた。この改定で、従来のマニュアル重視から、より実態に沿ったマネジメントの運用が求められることになった。これにより、ISO2008年度版を取得している事業者は3年間の間に移行審査を受けることが必要となった。</li> <li>・ 当研究会へは、外部審査機関から認証取得済み企業の新規格への対応及びレベルアップ支援を、診断協会を通じて要請されている。</li> </ul> </li> <li>② これまでの活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H19年9月発足の当研究会は、ISO9001,14001規格の勉強会からスタートしエッセサロン認証審査を行った。</li> <li>・ H23は不適合の是正処置としての「なぜなぜ分析」のテキスト、カリキュラム作りと教育・研修会を実施した。</li> <li>・ H25は介護・福祉分野企業へのレベルアップ支援、認証取得支援のためのマニュアル他モデル文書作成した。</li> <li>・ H27、H28、H29は、2015年版の規格の勉強及び、共通の事例をベースにして、メンバーで2015年版への移行教育用マニュアルを作成、審査機関と連携して、ISO2008年版から2015年版マニュアル、文書に切り替える作業をすすめ、2社の新規格への認証移行を支援した。</li> <li>・ H30年は、経営改善に主眼を置いた2015年版導入マニュアルづくりに取り組んだ。</li> </ul> </li> <li>③ 今後の活動予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西日本豪雨災害に伴う官民挙げての対応のなかで、緊急事態、異常事態へ備えてBCP(事業継続計画)、リスクアセスメントなどの必要性が高まっておりISO-2015年版で取り上げている“リスク及び機会への取組”を深掘りし、業種、プロセス横断的な進め方マニュアル、具体的で活用しやすい様式の提案、事例集を作成、活用する。</li> </ul> </li> <li>④ 活動のねらい <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模企業でも最低限予測し事前対応しておくべきリスクに焦点を当てる。本格的なリスクアセスメントでなく実践に基づく泥臭い支援ノウハウをまとめる。</li> </ul> </li> </ul>
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISO規格をもとに、事業計画の策定からPDCAサイクルを回し続けられる仕組みづくりの支援をするためのノウハウを研究しています。</li> <li>・ グループ員の意見で自由にテーマを決め、診断士としての力量アップを図っている。テーマに興味のある方の気軽な参加期待しています。</li> </ul>



# 建設業研究会

活動目的	変革が求められる建設関連企業に対し、有益な経営支援に直結するコンサルティング理論の展開や具体的な実践手法を、グループメンバーで研究・模索する。
代表	柳川 治久
連絡先	担当者：柳川 治久（研究会事務局） 電話番号：080-1904-6492 Email：tonmanana@box.email.ne.jp
会員数	6名（H31年1月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究会の活動趣旨に賛同し、積極的かつ継続的に参加できる方</li> <li>・ 年会費：0円</li> </ul>
活動概要	1 定例会合（日時〔曜日〕・場所） 日程：3か月に一回程度 場所：広島市内他  2 活動内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">H30年度活動実績</div> テーマ：中小建設関連企業の生産性向上や担い手確保など、 幅広い経営課題の改善につながる支援の模索検討 目 標：メンバーのサンプル事例を参考検討しにして、自身の経営支援の実践の場で役に立つ 「建設業研究会の推奨するコンサルティングノウハウ」や「自分のコンサルティング ノウハウ」の構築を目指す。 内 容：①生産性向上や担い手確保の手法の習得と、その実施に関する問題点や課題の検討 ②時間をかけてサンプル事例を発表してもらい、その有益性や問題点をグループで 討議する ③研究会メンバーでチームをつくり、メンバーそれぞれの長所を活かし、複眼で多角 的に経営支援する手法を検討  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">H31年度活動予定</div> テーマ：災害復旧の土木工事や都市部の建築工事等建設需要の高まりが見える中、依然として 経営環境が厳しいとされる地元に着目した建築系工務店経営者に対し、如何にして受 注拡大を図ってゆけばよいのか模索検討したい。 目 標：若手経営者や後継者が実際に経営に携わる際に役に立つ、有益な情報や手法を取りま とめ、それを提供できる実際の経営支援の場を設定したい。 内 容：①メンバーのコンサル業務の精度向上やクライアントの満足度を繋がる有益な情報を密 に交換してゆく ②テーマを細分化し、メンバーに担当部分を取りまとめる形で成果物を作成する。 ③意欲のある若手経営者や後継者を発掘し、経営者同士の情報交換による自発的な経 営改革も支援フォローしてゆきたい。
入会を希望さ れる皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現メンバーは多様で、建設業に詳しい会員から今まで縁の薄い会員まで、幅広く在籍しています。お気軽に研究会事務局にご一報下さい。</li> <li>・ 建設関連の経営支援に興味のある方・他産業と建設関連企業の連携などを検討されている方など、幅広い方々のご参加をお待ちしております。</li> </ul>

## 販路開拓研究会

活動目的	事業計画の目標達成に向けて、多くの中小企業の隘路となっている販路開拓を、効率的、効果的に支援するノウハウを研究しています。県外ネットワークの構築も図っています。
代表	川上 正人
連絡先	担当者：川上正人 株式会社流通プランニング研究所内 電話番号：082-263-1153 Email：info@dpl.gr.jp
会員数	7名（令和元年5月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路開拓支援の方法を共に考えて頂ける方</li> <li>・会員1名以上の推薦が得られ、入会されるメリットが認められる方</li> <li>・会費 なし</li> </ul>
活動概要	<p>■事業目的と取り組み概要</p> <p>販路開拓研究会は、標準化が難しいとされる支援手法について、調査研究を行うために設立された。会員の中小企業診断士が、新たな視野に立った診断・助言を行い、先進的な診断・助言の専門家として知識を共有し、企業や地域の発展に寄与できるよう、平成20年発足以来、以下の事業に取り組んでいる。</p> <p>■研究テーマ</p> <p>販路開拓には普遍的な原理原則があり、支援に役立つノウハウを蓄積する。 例会での情報交換をもとに、多様な知見を得てスキルアップに努めたい。</p> <p>【実施事項】</p> <p>① 販路開拓支援に関する調査研究 効率的、効果的に販路開拓を支援するためのノウハウを構築する。過去の支援事例に基づいて、効果的な支援のあり方を研究する。</p> <p>② 販路開拓の支援 昨年から取り組んでいる製造業、小売業の販路開拓支援を引き続き行う。会員のアドバイスを もとに、支援手法の内容充実につとめる。</p> <p>■実施予定</p> <p>取り組み内容は、これまでと同じく「研究会例会」「広島県協会への出稿」とする。</p> <p>(1) 研究会例会 (3回開催) 多忙な会員が多いため、日程調整がつかない場合は、メール例会とする。 本年度、8月、12月、3月に、懇親会を伴うコミュニケーションの場を増やす。</p> <p>(2) 支部機関紙への出稿 年2回協会の発行する「診断ひろしま」に対し、依頼があった場合、出稿する。</p>
入会を希望 される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恐れ入りますが、業務多忙のため本年度は新規会員の募集は行いません。</li> </ul>



# IoT研究会

活動目的	会員の「IoT 導入支援のスキルの向上」を目指し、IoT の研究を行う。実証実験を行いながら。①見える化、②分析、③提案と IoT 導入ステップを設け、IoT において中小企業診断士の業務である②分析、③提案をどのように行えるかの研究を行う。
代表	丸田 稔
連絡先	担当者：丸田 稔 電話番号：090-2802-7084 Email：noru@uncode.co.jp
会員数	7名
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>入会条件：研究会の活動趣旨に賛同し、積極的かつ継続的に参加できる会員、及び外部の方。</li> <li>年会費：なし。(但し、外部活動の移動交通費などは実費負担)</li> </ul>
活動概要	<p>1. 定例会合 日時：毎月1回、土曜日又は日曜日、15:00～17:00(頃) 場所：診断協会事務所会議机 (注) 企業訪問調査などの外部活動を行う場合は、別途日時を設定します。</p> <p>2. 活動内容 (1) 活動テーマ 中小企業の課題解決に対して、IoT がどのように活用でき、成果を出すことができるかを探る。 見える化したビッグデータをコンサルタントとしていかに活用できるかを探る。</p> <p>(2) 活動内容  <ul style="list-style-type: none"> <li>中小製造業、中小飲食業等の訪問ヒアリングと課題抽出</li> <li>課題解決に適切な IoT の提案と導入試験</li> <li>IoT で収集したデータの分析、分析からの提案</li> </ul> </p> <p>(3) 活動期間  <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年3月～平成32年2月</li> </ul> </p> <p>&lt;本研究会のIoT(Internet of Things)の構成要素&gt;            基本要素として①センサー&amp;デバイス、④アプリケーションがあり、支援要素として②ネットワーク、③クラウドコンピューティング、⑤セキュリティがある(下図参照)。</p> <p>(図)IoTの構成要素</p> <pre>           graph TD             subgraph IoT_活用_プロセス               A[データ収集] --&gt; B[データ蓄積]               B --&gt; C[データ分析]               C --&gt; D[データ活用]             end             subgraph IoT_要素_技術               E[①センサー&amp;デバイス]               F[②通信]               G[③クラウドコンピューティング]               H[④アプリケーション]               I[⑤セキュリティ]             end             J[制御対象] --&gt; E             E --&gt; F             F --&gt; G             G --&gt; H             H --&gt; I             I --&gt; J           </pre>
入会を希望される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時新規の入会を受け付けております。</li> <li>中小企業経営されている方の実証実験の場としての参加も含め、ご参加も可能です。</li> </ul>



# 企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 研鑽 企業内診断士の診断能力等の向上を図る</li> <li>◆ 貢献 中小企業経営の改善・改革を支援する</li> <li>◆ 連携 ネットワーク作りを行う</li> </ul>
代表	岩田 潤一
連絡先	担当者：岩田 潤一 電話番号：090-7548-2088 Email：j118@ms5.megaegg.ne.jp
会員数	39名（令和元年5月現在）
入会条件 会費等	本研究会は、広島県診断協会会員であって、本研究会の目的に賛同する企業内診断士の方を入会資格者としていますが、企業内診断士以外の広島県診断協会会員についても本研究会の目的に賛同して頂ける方ならば、入会可能です。なお、会費等は徴収せず、都度、参加者の実費精算としています。
活動概要	<p>（1）本研究会について</p> <p>本研究会は、「企業内診断士診断能力向上研究会（略称：企業内診断士の会）」という名称の通り、副業禁止規定等の勤務先の就業規則や平日の行事参加が困難等の時間的制約などから中小企業診断士としての活動が制限されやすい企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）を図ることを主たる目的としています。加えて、中小企業経営の改善・革新を支援（貢献）するとともに、診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）を行うことも目的です。</p> <p>（2）活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①企業診断技術の研究 会員の有する専門知識や経験等、或いは、企業診断の実例を活用した診断技能・技法の研究</li> <li>②最新の業界動向、中小企業政策等企業診断に必要な知識・情報の調査・研究</li> <li>③専門家等を招いたセミナー・研修会の開催</li> <li>④ネットワーク作り交流会の開催</li> </ul> <p>（3）令和元年度活動計画の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①月例会合（右写真） 原則として総会および中小企業診断士理論政策更新研修開催月（7・11月）を除く毎月第3土曜日午後15時に広島市内にて開催し、諸活動の経過・成果報告および研修等を行うもの。</li> <li>②研究活動 (a) グループ研究 (b) 個人研究があり、会員はいずれか、または両方の活動を行う。 (a) グループ研究 ……3名以上の本研究会会員から成るグループによる研究活動。 (b) 個人研究 ……各自が選定した研究テーマについて、個人で、研究活動を行うもの。</li> <li>③実務診断 ……随時実施。これまで商店街、飲食業、広告代理店等各種実施。 H30年度は協会本部プロボノ活動実証実験事業として、協同組合診断を実施。</li> <li>④セミナー・研修会及び交流会 定期：中小企業診断士理論政策更新研修日（7・11月）に会員およびプロコンとの交流会を開催。 随時：他県診断協会会員との交流等を実施。</li> </ul>
入会を希望される皆様へ	令和元年度は活動9年目に入ります。現時点、県内外各地から多様な企業に属する39名の会員が、互いの成長に寄与する『互惠理念』のもと、上記活動を活発に行っています。入会ご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。会合のご見学や、上記交流会へのご参加をお待ちしています。



## 海外展開支援研究会

活動目的	日本の中小企業が海外展開などの国際化を行う際、予期せぬ多くの問題に直面し、撤退を余儀なくされるケースも少なくない。異文化を克服し、現地で持続的な経営を続けるためには、場当たりの対応から脱却し、確固たる考え方を持って課題に取り組んでいくことが肝要である。この研究会では、様々なケースを調査・分析、助言のためのベースデータを構築し、実際の企業活動のサポートに繋げることを目的とする。
代表	平見 尚隆
連絡先	担当者：平見 尚隆 電話番号：082-424-4313 Email：nhiram@hiroshima-u.ac.jp
会員数	3名（H30年12月現在）
入会条件 会費等	中小企業の海外展開・国際化に興味を持っておられる方 活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>中小企業の海外展開は、1980年代後半から増加しつつあったが、バブルの崩壊により低迷、90年代後半には円高を背景に再び増加、その後リーマンショックで再度減少の傾向を示した。近年は大企業の積極的な海外進出に伴い、増加傾向にある。このように、中小企業の海外展開は社会や経済情勢に大きく影響を受ける。また、中小企業が海外展開を行うまでの道のりは決して平坦ではなく、海外展開後も様々な課題が存在すると聞く。</p> <p>一方、昨今の国内の人手不足を反映して、中小企業レベルでも外国人人材を積極的に受け入れようとする傾向がある。この動きに伴い入管難民法の改正も決定され、今後益々外国人人材の日本国内企業での労働が増加すると予想される。即ち、日本国内での中小企業の国際化が必要となってくると考えられる。</p> <p>これまでは、「海外展開を行う中小企業のための実践的マニュアルの研究・開発」という形で一般的な海外進出に関する調査研究活動を行ってきたが（報告書という形にまとめ、広島県中小企業診断協会の全会員及び全国各都道府県の診断協会へ配布 - 全部で約220冊、中小企業診断協会の会長賞受賞）、現在は対象を国内での社員の国際化の課題にも広げ、外国人人材が国内で働く上での課題についての調査を行っている。中期的な目標として海外展開の視点で作成したマニュアルと同様な実践的マニュアルを研究・開発していきたいと考えている。</p> <p>活動としては、月に1回程度集まり議論を行っている。場所は、広島大学東広島キャンパスのVenture Business Lab (VBL)。</p>
入会を希望される皆様へ	会合は不定期に行っております。興味を持たれた方は、事前に上記連絡先までお問い合わせください。

# ニューロビジネス研究会

活動目的	<p>商品開発やマーケティングから人工知能（以下 AI）、ロボティクスまで広く脳科学の知見を活用したニューロビジネスが欧米を中心に広まっている。この分野では遅れている日本でも、一部大企業で導入を始めたところもあり、中小企業でも具体的な活用方法について検討を始める時期が来たと考える。</p> <p>中小企業経営支援の多様化を目的に、今後の中小企業におけるニューロビジネスとの係りについて、調査・研究を行う。</p>
代表	西村 英樹
連絡先	担当者 西村英樹 電話番号 080-1915-4308      Email : kyupi@amber.plala.or.jp.
会員数	15名（R1年5月現在）
入会条件 会費等	興味を持ち、主体的に活動できる方 ・ 活動費は必要に応じて実費負担
活動概要	<p>研究会では会員だけではなく、AIに関心を持つ中小企業経営者（ユーザ、ベンダー）をメンバーに加え、中小製造業が抱える経営課題に対して、AIを活用する具体的な方法についての調査研究を行っている。</p> <p>研究会メンバーが代表となり広島サンドボックス事業へ応募した「つながる中小製造業でのスマートものづくり」が採択された。本事業では他のメンバー企業も交えた複数企業によるコンソーシアムにより3年に及ぶ実証実験を予定している。この事業は当研究会で取り組んだ「製造業におけるAIの活用」の研究成果を取り入れたものとなっており、今後本事業をサポートするとともに研究成果を様々な業種へ広げる活動を行うこととしている。</p> <p>今年度も引き続きAIに関する以下の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）情報発信                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会活動で蓄積された知見に基づき、AI関連書籍を出版する。</li> <li>・セミナー等を通じて、中小企業におけるAI活用方法等についての情報提供を行う。</li> </ul> </li> <li>（2）AI活用に関する調査研究                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造現場におけるAIの具体的な活用方法について調査研究を行う。</li> </ul> </li> <li>（3）関係機関との連携強化                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、大学、中小企業関連団体等との連携を強化し研究活動を促進させる。</li> </ul> </li> <li>（4）会合場所等                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・会合は毎月第3土曜日午前に広島市内を中心行う予定。</li> </ul> </li> </ul>
入会を希望される皆様へ	担当までご連絡下さい。

## 資金繰り表研究会

活動目的	中小企業が「精度の高い資金繰り表」を導入・継続作成・管理する事を支援し、資金繰り安定・業績向上に貢献する。
代表	大村 貞之
連絡先	担当者 大村 貞之 電話番号：090-6408-2495      Email：syo88@iaa.itkeeper.ne.jp
会員数	12名（H30年12月末現在）
入会条件 会費等	・研究会の活動趣旨に賛同して頂ける方。 ・無料
活動概要	<p>企業が精度の高い資金繰り表を、①導入する事。②継続して作成する事。③効果的に管理する事。について、セミナーや個別企業支援を通じて支援する。</p> <p><b>H30年度活動予定・実績</b></p> <p>① 資金繰り表フォーム・エクセルソフトの確立 （フォームを確立し、広島県中小企業診断協会のホームページに公開しました。 どなたでもダウンロードしていただけるようにしました。）</p> <p>②資金繰り表導入マニュアル作成（作成中）</p> <p>③資金繰り表継続作成マニュアル作成（作成中）</p> <p>④資金繰り表効果的管理マニュアル作成（作成中）</p> <p>⑤セミナーに向け準備（準備中）</p> <p><b>H31年度活動予定</b></p> <p>①資金繰り表導入等マニュアルの完成</p> <p>②セミナー開催</p> <p>③個別企業支援</p>
入会を希望される皆様へ	・平成29年4月よりスタートの研究会です。 ・平成29年6月より、随時、開催中です。

## 原価管理研究会

活動目的	中小企業全業種に導入可能な「原価管理システム」の構築から運用までのノウハウを習得し、システム活用によるコンサルティング技法を調査研究する。
代表	増田 宣彦
連絡先	担当者：野崎 義博 電話番号：090-7595-2554      Email： <a href="mailto:nozaki-y@eos.ocn.ne.jp">nozaki-y@eos.ocn.ne.jp</a>
会員数	10名（H31年1月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会の活動趣旨に賛同する者</li> <li>・年会費 0円</li> </ul>
活動概要	<p>1 活動方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会合：情報交換等</li> <li>・実地研修：企業訪問等</li> </ul> <p>2 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益を生み出すコスト管理の手法（座学）</li> <li>・建設業の原価管理の導入事例（実践）</li> <li>・製造業の原価管理の導入事例（実践）</li> <li>・その他業種の原価管理の導入事例（実践）</li> </ul>
入会を希望される皆様へ	・連絡先担当者へご一報ください。

# 事業承継研究会

活動目的	事業承継は企業が継続するためには避けられない課題であり、「経営承継円滑化法」など国の施策でも集中的に措置が図られている。当研究会では事業承継計画の策定や、その実行支援、問題解決等について、中小企業診断士が果たす役割とノウハウを研究する。
代表	植田 昌子
連絡先	担当者 植田 昌子 電話番号：090-7590-1328      Email：masako4@outlook.jp
会員数	11名（R1年6月現在）
入会条件 会費等	研究会の活動趣旨に賛同し、テーマに関心をお持ちの方 福山市で開催します 年会費：無料（ただしコピー代等は実費負担）
活動概要	<p>1. 活動の趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継から生ずる問題を抱える企業はさらに増加しており、起業の継続と発展にとって、その解決の重要性は大きくなっている。</li> <li>・承継問題の解決の核は「事業承継に向けた経営改善」であり、中小企業診断士にその期待が寄せられている。</li> <li>・一方で事業承継問題は多様化・複雑化し、その解決には多方面からのアプローチと、経営・法務・税務・労務その他の広い知識やスキル、経営者と各専門家との連携・協力が必要となる。</li> <li>・この研究会を通して、事業承継支援と問題解決のスキルを研究し、中小企業診断士が事業承継のコンサルタントとして問題解決にあたる際のノウハウの向上を研究する。</li> </ul> <p>2. 定例会合（毎月1回）</p> <p style="margin-left: 20px;">日時：第2土曜日 10:00～12:00 場所：福山市内</p> <p>3. 活動内容</p> <p>①事業承継事例問題 出題される事例問題について予め各自が解答を準備し、ディスカッション形式で解決策を探る。実務で事業承継や経営改善に携わる会員からの、経験・実績と得意分野を生かした深い意見や提言を学びあうことで、事業承継問題解決への対応力向上を図る。</p> <p>②事例紹介・検証 メンバー各自が対応した案件等について、守秘義務の範囲内で紹介。またメディアで取り上げられた事業承継事例なども踏まえ、具体的な解決策や、成功・失敗の原因など、内容を分析・検証する。</p> <p>③事業承継計画の策定研究 全ての案件について、承継計画の策定は基礎となる。実務に有用な計画策定とその実施について研究する。</p> <p>④企業への事業承継診断と提言の実施 企業から事業承継の相談案件を受け、問題解決の提言を行った。今後も実際の相談案件への対応機会を増やしていく。</p>
入会を希望される皆様へ	平成29年9月にスタートし、徐々に会員数も増えています。 ご関心のある方、ぜひご連絡ください。



# 企業再生実践研究会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業再生支援の現場で実践できる知識、スキルを研究し習得すること。</li> <li>・事業再生にも寄与できる中小企業診断士を育成すること。</li> </ul>
代表	岩本 亨
連絡先	担当者：岩本 亨 ハトム株式会社内 電話番号：082-846-6508 Email：iwamoto@asset-p.co.jp
会員数	9名（H31年1月現在）
入会条件 会費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業再生を実際に支援したい意欲をお持ちの方</li> <li>・会員1名以上の推薦が得られ、入会されるメリットが認められる方</li> <li>・会費 なし</li> </ul>
活動概要	<p>■事業目的と取り組み概要</p> <p>経営危機にある企業を再建するために、中小企業診断士として当該企業に、また当該企業が借入をしている金融機関にどのように対応すべきか等々、現場で実践できる知識、スキルを研究し習得する。これにより事業再生にも寄与できる中小企業診断士を育成する。</p> <p>■研究テーマ</p> <p>事業再生支援には原理原則がある。特に私的整理についての知識をしっかりと持たなければ我流の支援になってしまう。それを踏まえて実践的な支援に役立つノウハウを蓄積する。 例会での情報交換をもとに、多様な知見を得てスキルアップに努めたい。</p> <p>【実施事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 再生支援についての事例研究、ノウハウの共有</li> <li>④ 再生支援について官庁・公的機関・商工団体等との連携の模索</li> </ul> <p>■実施予定</p> <p>新しい研究会なので「研究会例会」を中心に関連する活動についても可能な範囲で活動することとする。</p> <p>(1) 研究会例会（6回開催） 原則偶数月の第一土曜日午後</p> <p>(2) 支部機関紙への出稿 年2回協会の発行する「診断ひろしま」に対し、依頼があり対応が可能な場合、出稿する。</p> <p>(3) H31年度研究活動成果発表会での発表 新規の研究会として活動報告をする。</p>
入会を希望 される皆様へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表の岩本宛ご連絡を頂ければと思います。よろしくお願いたします。</li> </ul>



令和元年6月発行

発行者 一般社団法人広島県中小企業診断協会

編集人 グループ研究委員会

連絡先 〒730-0052  
広島市中区千田町3丁目7番47号  
広島県情報プラザ3階  
TEL (082) 569-7338  
FAX (082) 569-7336  
E-mail : [jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp](mailto:jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp)